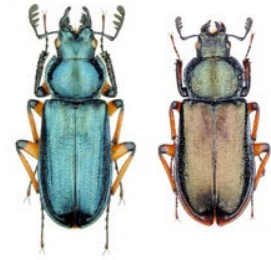


緊急指定種タカネルリクワガタについて

■緊急指定種指定の経緯

本種は新種記載（平成 19 年）を契機として、種の保存法の「緊急指定種」に指定された（指定期間：平成 20 年 3 月 26 日～平成 23 年 3 月 25 日）。指定された理由は、以下によって緊急的な規制の必要性が認められたため。



- ・非常に限られた地点でしか分布が確認されていなかった。
- ・ごく限られた個体数である可能性が高かった。
- ・ネットオークション上での標本の売買が確認された。

■タカネルリクワガタの概要

分類 クワガタムシ科ルリクワガタ属の昆虫の一種

形態 体長は 9.8-12.1mm 程度。オスには青緑、メスには銅の金属光沢がある。

生態 5月中旬～7月下旬に出現。卵は約 1 ヶ月後に孵化、幼虫期間は 2 年。産卵は軟腐朽材の細枝（選好性は低い）。ルリクワガタ属特有の産卵マークを残す。

分布 四国山地の高標高地に生息

■「緊急指定種」指定後の調査結果

日本鞘翅学会と連携し生息実態調査を実施。3 年間の調査結果の概要は以下の通り。

- ・生態的特性に近いコルリクワガタ（普通種）と比較しても生息密度は高い。
- ・主たる生息地は急峻な斜面であり、人工構造物の設置や捕獲等は物理的に困難。
- ・生息地の一部が国定公園や森林生態系保護地域などにより保全されている。

以上より、国内希少野生動植物種の指定要件（「種の保存に支障を来す事情がある」）には合致しないと判断し、緊急指定種の期限切れ後の「国内希少野生動植物種」への指定は見送ることとする。今後はレッドリストの見直しの際に収集する情報や専門家による知見を基に、生息状況の把握に努める。

※緊急指定種とは

緊急指定種は、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」第5条に基づき、環境大臣が指定するもの。捕獲・殺傷、譲渡し、輸出入、陳列等を禁止する緊急的な措置。指定の期間は、最大3か年。指定後、生息実態調査を実施し、その結果をもとに「国内希少野生動植物種」に指定するか否かを判断。これまで緊急指定種に指定した種は、ワシミミズク、イリオモテボタル及びクメジマボタルの3種（ともに平成6年12月指定）。このうちワシミミズクのみ平成9年11月に国内希少野生動植物種に指定されている。